

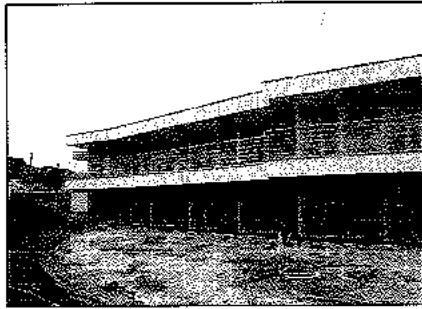
2018年12月発行
社会福祉法人 ありのまま舎 (障害者自立企画)
発行責任者 高橋 治
編集責任者 白江 浩
編 集 佐藤 環
〒982-8544
仙台市太白区西多賀4丁目19-1
TEL022(243)1300
<http://www.arinomama.or.jp/>
E-mail: houjin-arinomama@globe.ocn.ne.jp

2018年「亘理ありのまま舎」建設報告 平成31年3月1日開所予定



今年には会報「自立」で「亘理ありのまま舎」の記事を取り上げ私たちが目指す地域生活支援拠点の趣旨をお伝えしてきました。亘理町の地域を活かし、その方の自己実現のために地域活動や日中の過ごし方を大切に考えています。近くには学校や公民館、消防署や警察署がある中心部です。公民館のサークル活動に入居者の方が出かけて行ったり、地域の方と防災訓練を実施したり、施設の外に出て地域の方々と共に作り上げていきたいと願っています。法人活動であるバザー会や募金活動も亘理町で行うことを当舎のことで知っていただき、繋がりを深めていくきっかけ作りを考えています。

開所時には地域活動をスタートできるように、目指す運営と準備を整え、来年3月1日の開所を迎えたいと思います。
「亘理ありのまま舎」建設に対し皆様からご寄付をいただく機会が少しずつ増え大変感謝しております。どうか今後とも変わらぬご支援を引き続きお願い申し上げます。



「亘理ありのまま舎」H30.11.22撮影

平成30年 進捗状況報告

4月17日	ソーラー発電機・蓄電池入札
4月～12月(月2回実施)	建設 総合定例会議 (現地工事事務所で開催)
7月～12月	「亘理ありのまま舎」求人説明会(亘理町・大河原町で計9回開催)
7月～12月(毎月1回開催)	地域生活支援拠点整備実行委員会開催
11月	入居希望者のリストアップ開始
12月26日	竣工・引渡し以降、内覧会予定
平成31年3月1日	「亘理ありのまま舎」開所
3月16日	開所記念会(予定)

薫る風

年末恒例の重大ニュースが話題になる頃となった。車中でラジオを聴いていると、その話題となった。たまたま聴いたのが、スポーツについてだった。興味深かった。サッカーワールドカップでの日本の活躍は多くの方がご存じだろう。あるサッカー評論家が日本の戦いについて「勝っても素直に喜べない試合と負けても清々しい試合がある」と言う。リードしていて、時間切れを狙ってパス回しに終了した試合は、国際的にも、日本の中でも評価が分かれる試合で、勝つためには必要な戦術として理解していても納得出来ない人もいます。しかし、ベルギー戦は双方が持ち味を出し合い、反則も少なく、見ていて楽しく面白かった。結果負けはしたが、納得できると言う。過去には、大相撲でも相手がけがをしていて足を責めなかった力士がいた。格上の選手でも決して逃げず真向勝負の投手がいた。骨折しながらも黙って試合に出場し、負けてもそれを理由にしなかった選手もいた。むろん人によって、それぞれの評価は違うかもしれない。負けては意味がないと考える人もあるし、そういう国もある。ただ、お互いに持てる力を出し尽くし、フェアなプレーで闘い、ゲームが終わればお互いの力を讃え合う、ノーサイド(どちらの側でもない)の精神がスポーツが人を引き付ける大きな理由であり、時に感動を呼び人々に生きる力さえ与える。

一方で相手をつぶし、相手の力(価値)を削ぎ(引き下げ)、相対的に自分の力(価値)を高めて勝利する。危険タックルで相手の選手をつぶそうとして問題になったのも今年の話だ。スポーツに限らず、私たちの身近なところでもそんな経験を持つ。お互いに高め合う努力より相手の欠点や弱点を突くことで、相手をつぶそうとする。そんなことを考えながらラジオを聴いた。

(白江)

2018(平成30)年 社会福祉法人ありのまま舎活動報告



地域生活支援拠点「亘理ありのまま舎」建設を中心に各エリアでも新規拠点の周知に努め、法人全体として活動を進めて参りました。既存の事業所とも連携し、新たな協力を増やし、繋がり深めながら取り組みを行いました。

【2018年の活動報告】

4月2日(月)
チャイルドケア仙台ありのまま舎保育園開所



3名の入園児を迎えスタートしました。現在は園児、スタッフとも充足しつつあり、医療的ケア児の受け入れの準備を進めています。

社会福祉法人ありのまま舎各施設・各事業所開所式

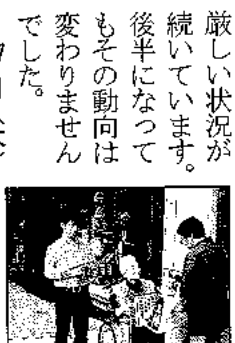
自立ホーム、難病ホスピス、そして相談支援3事業所が新たな年度をスタートし、思いを新たにしました。



5月16日(水)
街頭PR活動開始!

今年は一理ありのまま舎

建設の呼びかけを中心にを行いました。年々募金額が低迷し続いています。後半になって後半になってもその動向は変わりませんでした。



5月17日(木)
四重奏コンサート(自立ホーム・難病ホスピス)

仙台フィルハーモニー管弦楽団所属の高橋咲子さんとそのご友人の方による演奏会が両施設で行われました。地域の皆さんも楽しみにご参加くださいました。



6月9日(土)
第31回ありのまま生活福祉講座(仙台市福祉プラザ)

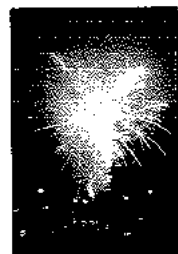
座長の彬子女王殿下、講師に野田聖子さん(衆議院議員)と長舛敏明さん(京瀨伝統工芸士)をお招きしました。生活・福祉・文化をより深く学ぶ講演会になりました。

7月21日(土)
第20回ありのまま自立大賞授賞式・平成30年度後援会総会

(仙台市福祉プラザ)
貝谷嘉洋氏(自立奨励賞)／東京都と宮崎豊和氏(自立奨励賞)／東京都が受賞。

今回も選考委員長の瑤子女王殿下には面接調査や記者発表、授賞式に御臨席を賜りました。第20回記念として自立大賞受賞者の熊谷晋一郎氏から記念講演をいただきました。7月28・29日(土・日)茂庭台夏祭り

茂庭台地域の方々と共にお祭りを企画し、ファイナレには大きな打ち上げ花火を今年も行い大歓声でした。



10月20日(土)
後援会主催マリンバ&ピアノコンサート(難病ホスピス)

鶴岡たみ子さん、古賀望子さんをお迎えしました。第5回目となり定着しているコンサートです。

2018年も地域の皆様、協力者の皆様にご支援いただき活動を継続することができました。私たちの力不足で活動資金等を皆様にお願ひする機会が多く心苦しく存じますが、今後とも一支援を切にお願ひ申し上げます。

連載

泉南エリア地域生活支援拠点への歩み① 〜東日本大震災から現在へ〜

工事は順調に進み、十二月末には引き渡しを受けることになった。しかし、今も目標となる人材は確保できていない。この計画が議論されている頃から、介護職員・看護職員など医療や福祉の現場で働く人々の不足は言われていた。その頃より状況は更に悪化している。人数さえ集めれば良いと言う訳でもない。説明会に来た人の数は六十人を超えた。関心の高さを知った。しかし面接に繋がり、採用に至った人はその数分の一しかない。行政からも基準通りの人員を確保できるのか、心配されている。それでも何故か焦りのようなものがない。楽観的と言われるかも知れないが、採用が決まった人材の中には、将来が楽しみな人材がいて、その将来をふと想像すると嬉しくなる。そんな思いが焦りを抑えているのかも知れない。焦らず、良き人材を待つ。そして育てたい。そんな力は私にはないが、既に働くスタッフの中には、それができる人材が少なからず存在する。そんなことを考えていると何故か焦りより、楽しみが勝ってしまう。スタッフの確保以外にも、入居者の人選。利用

者の登録。車両はじめ設備用品の選定。地域住民との関係づくり。

三月一日の開所とその後の記念会の準備。やるべきことは山積している。中でもひとつひとつの事業(活動)については、これまでこのコーナーで書かせて頂いたが、それをより具体的にしていく作業は、実行委員会での議論も含めて、理念と方針の具現化に向けて想像力と実行力が整合する機会となる。スタートダッシュは到底望めまい。でも、楽しみは絶えない。かつて生きる意味を問いつけて亡くなつていった仲間たちに、きちんと説明し、納得してもらえようように全力を尽くすことを誓い、このコーナーは新たなステージに入ることになる。

(白江浩)



県南エリアコミュニティ 地域生活支援拠点整備実行委員会

30年12月で終了

今年7月から毎月開催していた県南エリアコミュニティ地域生活支援拠点整備実行委員会は12月で終了となります。

亘理町に建設を進めている多機能拠点施設事業にかかる運営全般のあり方や求められる機能、役割などについて広く意見を頂くため実行委員会を立ち上げ、これまで4回開催して参りました。

亘理町に根ざしてどんな役割が期待されているのかを土台として、ソフト面を中心に課題出しを進めてきました。それぞれの立場からの視点で率直にご提案を頂きました。

人材については厳しい状況はありますが、現地で説明会を実施し関心を持って参加くださる方が多い印象があります。夜勤ナースの確保が厳しい状況にあります。入居定員は満床にはしない方向で、必要な人材についても短時間就労や利用者、家族の就労など多様な働き方を検討しています。

亘理町においては日中活動の場の確保が大きな課題となっています。入居者の重度化・重症化に伴い、施設内のケアで1日を過ごすのがいっぱいになってしまいう傾向があり、開所する前

に日中活動の体制を整え、入居者が施設の外に出て地域の方と活動できることを検討しています。

新規点には基幹相談支援センターを設置予定です。地域の相談支援の核として考えています。専門性を持った人材の確保と維持、信頼性が大きな鍵で、人材育成と将来を見据えた人事配置の必要性の意見を頂戴しました。

12月27日(火)に最後の実行委員会を開催し、来年3月1日(金)に開所を迎えます。今後も地域の皆様、障害を持った方の支援に携わる関係機関の皆様、行政関係者の方に「指導を賜りながら事業実施に繋げて参ります。今後ともご指導のほど宜しくお願い申し上げます。



【法人本部/西多賀】

仙台北教会ハザー

11月11日(日)

今年も会報発送のお手伝いをいただいている日本キリスト教団仙台北教会のチャリティバザーに参加させて頂きました。礼拝堂の一部をお借りしてシールや文具類を中心に販売させて頂きました。礼拝堂ではコーラスや一足早いクリスマスソングが披露されるなど温かい雰囲気にも包まれていました。当舎の他にもいくつかの団体が参加された。共に交流を持ちながらそれぞれの団体の商品を販売させて頂きました。

(川尻)



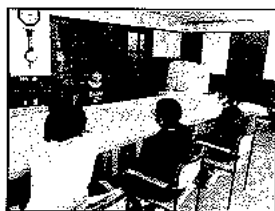
【自立ホーム/仙台東りそのまま舎 リビングセンター】

金剛沢小学校体験学習

11月22日(木)

自立ホームに近い金剛沢小学校6年生3名の体験学習がありました。「ありのままショップに来たことがあったので興味があった。」「両親が介護の仕事をしているのでどういう仕事か知りたいと思った。」と希望された理由がありました。

職員への質問では「なぜこの仕事を選んだのかですか。」「大変なことは何ですか。」「等質問がありました。その後どんな方がどんな生活をされているのか実際に入居者の方にお話しをいただき、ご本人が出来る部分と職員がお手伝いしている部分をお話しさせて頂きました。また3名の方が考えてきたお手伝いで「ありのままショップの商品片付け」の提案があり、商品を綺麗に陳列いただきました。



(佐藤環)

【難病ホスピス 太白ありのまま舎】

難病ヘルパー養成講座

10月31日(水)

宮城県患者家族団体連絡協議会(MPCC・難病ホスピスの会も所属)が仙台市より委託を受け、仙台市の居宅介護事業所に勤務するヘルパーの方々に対して、難病に関する医学的知識、医療・保健・福祉制度を理解して頂くための「難病患者等ホームヘルパー養成研修」が難病ホスピスを会場に開催されました。今年度は15名の方が受講されました。

カリキュラムとして行政施策の説明、難病に関する介護の実際、難病の基礎知識があります。基礎知識の講話ではホスピス入居者3名(ウィルソン病・脊髄小脳変性症・リウマチ)、MPCCの方3名(後縦靭帯骨化症・多発性硬化症・炎症性腸疾患)の方々が話し下さいました。入居者の方々は病気によりホスピスに入居するまでの経緯、日々の生活について、MPCCの方々は「自身や会の仲間の方々の体験・それぞれの病気について分かり易く伝えて下さいました。難病はおひとりおひとり異なった症状の波があり、今後の支援の中で活かされていくことを願っています。(金子)

【サポーターケア仙台ありのまま舎
（難病・障害者相談支援センター）】
グループホームにお住まいの

Sさんは入院をきっかけに急激な身体機能の低下があり、お一人での歩行が難しくなり手動の車椅子を使用しています。Sさんはグループホームが開所した時から入居されている方で30年以上生活を続けられています。大好きな買い物にお一人で行か

けられ、気の合う入居者とお部屋に集ってお酒を交わしながら過ごされています。開所当初の入居者は既に退居されSさんだけが生活を続けています。

「もつと自由に歩きたい。」「前みたいに一人で買い物にいきたい。」「好きな時間に好きなだけお酒を飲みたい。」。様々な願いをはつきり伝えてください。しかし、ご本人の体調や安全を優先するために年々制限が増えていくのが現状です。外出を継続しつつ安全に対応できるように移動支援や通院等介助でヘルパーさんと外出されていますが、本当は一人で好きな時に行きたい希望があります。

支援を行う上で「ニーズ」は大切なことですが、ご本人の本当の願いを共有し、理解することとはもつと大切なことであり、ご本人の思いに寄り添った支援ができる方法であると気づくことができました。
(佐藤環)

【サポーターケア県南ありのまま舎
（難病・障害者相談支援センター）】
重い障害のある計画相談利用

者のサービスマン担当者会議を開催するために、ご本人と進め方を相談しました。

長年の希望は「重い障害があっても一人暮らしすることの実現と、自分に出る就労活動をおこなって僅かでもお金を稼いで好きな物を買ったり食べたりすること」。この思いをしっかりと関係する人たちの前で意思表明しようとの約束をして、開催しました。

現在利用している各事業所の方、行政の保健師、ご家族に出席してもらった中でご本人に希望をしっかりと語ってもらったことができました。各出席者からは現在の利用状況等のお話とともに、ご本人の希望は尊重しながらも、少しの不安感もあることとの率直なお話も頂きました。

これからの1年、次の1年でどんな取り組みを行うことでご本人の願いを支えていくかの視点で話をするのができ、良い流れで意見交換ができました。意思決定をご本人がしっかりと表明すること、そのことを支援者が受け止め支えていくための大きな場づくりとなりました。
(齋藤)

【サポーターケア名取ありのまま舎
（難病・障害者相談支援センター）】
支援学校に通学している高等

部児童の方のケア会議が定期的に開催されています。開催の背景には、小学校の時から不登校となり、支援を受けてきたという経緯があります。

会議は本人を中心に、家族、学校、放課後等デイサービス、ヘルパー事業所が集まりみなさんで近況を共有しながら本人の思いを受けとめ支援の方向性を見出していく会議を目標としています。会議の中で学校の先生からは修学旅行でグループをまとめ、リーダーシップを発揮していたお話や本人から「A事業所に行きたいです。」「朝、毎日食事をとりません」という願いと目標を会議のなかで共有し新たな目標に向けて取り組んでいくことになりました。

これまでの支援経過には、学校の先生が通学支援を行い、また、ヘルパーによる自立のため

の支援などがありました。今、本人は少しずつ前に進もうとしています。児童の発達成長における目に見えない心の成長を感じつつ、私たち支援者も学習し成長しながら本人の願いが叶うよう支援していきたいと思

います。
(菊地理)

「協力ありがとうございました
」ございました (敬称略)

【本部】
会報発送のための帯封の糊付けを、仙台西高等学校JRC有志・東北学院榴ヶ岡高等学校音楽部・個人の方々に手伝いいただきました。

折り込みは、みやぎ生協のメンバーのみならず、日本基督教団東北教区婦人会の仙台北三番丁教会・宮城野愛泉教会・仙台愛泉教会のみならず、他、たくさんの方々に手伝いいただきました。お陰様で全国のご協力者の皆様へ約6000通を無事にお送りする事ができております。

【自立センター】
バザー会場やショップセールでは、個人の方々に手伝い

ただいております。
【難病ホスピス】
茂庭台ボランティアグループ

には、「気ままに書く会」を開いて頂き、書道に親しむきっかけづくりを頂いております。また、宮城県車いすダンス協会には、車いすダンスの機会をつくって頂き、仙台シルバーネットの皆様には、「読書会」を開いて頂いております。

今年も一年、皆様の温かなお力のお陰で活動が続けられました事、感謝申し上げます。

贈る人 贈られる人の気持ちを大切に...



FLOWERED
花のフワード

大切な方へ心を込めた花贈り。
特別なフラワーギフトを探しませんか。

虹の丘本店 仙台市泉区虹の丘4-2-9 TEL022-375-4411
泉中央店SELVA店 仙台市泉区泉中央1-4-1 TEL022-371-0311
北仙台店 仙台市青葉区昭和三-40 TEL022-728-4411

オンラインショップでは
24時間ご予約承ります。
<http://www.flowered.jp/>

先着10名の方に
書籍「プレゼント！」
「生命のキャッチボール」

11月号に引き続き、「生命のキャッチボール」から作品の一部をご紹介します。

◆ **こんな父親、されど父親**
「娘が生まれて、私は父親となつた。2001年秋のことである。(中略)そんな喜びの裏側で、私には大きな不安があった。デュシエンヌ型筋ジストロフィーを患い、車いすには座れるものの身動きはとれず、指先からかすかに動かせただけ。おまけに人工呼吸器につながれている。(中略)」

「あなたにできることをすればいいのよ。」
妻はそう言つて、あの手この手で、私を、生まれたばかりの娘に開かせてくれた。(中略)
あれは娘が一歳半ぐらいの時、妻が私に「お父さん、そろそろおしっこかな」と訊いた。すると娘は、何処へやらゆらゆらと駆けていく。程なくして戻つてきた彼女の両手には、尿びんとトイレットペーパーの切れ端が・・・。その無邪気な健気さに、私は涙が出てくるようだった。普通の家庭であれば、そんなことはしなくても済むはずだ。

(中略)それでも私は信じたい。親子の間において、障害の有無などたいして問題ではない。と。家族というものは支え合いの関係で成り立っているべきである。育児にしても介護にしても、決して一方通行のものではない。(中略)

こんな父親であればこそ、子に学ばせることも数多くあるはずである。どんな状況にあつても前向きな姿勢を崩さない、そんな私の生き様を見せることも、きつと彼らにとつて人生の教科書となるに違いない。」
長野県に在住の土屋竜一さん(音楽家/会社員)よりお寄せ頂きました。

**あなたは言った
私は祈った
共に生きていと...**
難病と共に生きる人々がいる
そしてより深い共に生きる人々がいる
そんな人々のメッセージがここにある

帯から抜粋

★お名前・住所・連絡先を明記の上、お電話・FAX・メールでお申込ください。
★送料300円はご負担いただきます。(切手)
★発送を以って代えさせていただきます。

「ご支援頂きありがとうございます
ございました(敬称略)」

【書き損じはがき等】
80/451/1

(栗原市) 有限会社アルコン
ありがとうございます。
(川尻誠)

ポトルカンパありがとうございます
ございました(敬称略)

18 10/24511/21
ワコー名取店(名取市)
4,248円

「住みよきランキング」2018におきまして全国3位となりました名取市で、古くから地域に根差したお店として親しまれております。永年設置頂き大変嬉しく思います。
(鈴木一彦)

【ハザー開催日のご案内】
12月

- 20日(木) ヨクベマル新田東店 (宮城野区)
- 22日(土) ありのまますヨブセル (仙台ありのまます)
- 25日(火) 袋原(向日葵)ソフ サポートセンター・太白区 (宮城野区)
- 27日(木) 鶴ヶ谷年鮮(ちば) (宮城野区)
- 《2019年1月》
- 8日(火) ヨークベマル南宮成店 (青葉区)
- 10日(木) 鶴ヶ谷年鮮(ちば) (宮城野区)
- 15日(火) ヤマザクマツ茂庭店(太白区)
- 17日(木) ヨークベマル新田東店 (宮城野区)
- 22日(火) ヨークベマル山田鉤取店 (太白区)

※1日のみ第4火曜日開催

【ショップ提供】
18 11/18

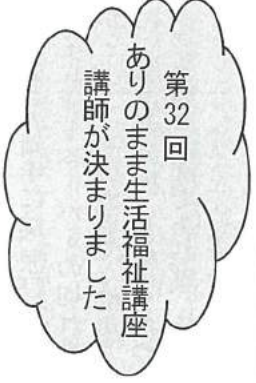
ビル・マンション・商業施設・一般住宅などの快適な空間を提案・提供
清掃・点検・施設管理はお任せください

株式会社セントビルサービス

仙台市青葉区鷺ヶ森 1-24-3

TEL/FAX 022-728-8680

お見積り無料です。お気軽にご相談ください。



第32回
ありのまま生活福祉講座
講師が決まりました

来年度の講師と日程が決まりました。

【日時】 6月15日(土) 13時半～16時

【場所】 仙台市福祉プラザ

【講師】

小林 忠氏
岡田美術館 館長

美術史学者
浅野 史郎氏
あさの しろう

神奈川大学教授
TVコメンテーター

元宮城県知事
〇座長 彬子女王殿下の御講話も賜ります。

受付開始は間もなくです。

◆会員制度を設けております。いつまでも記録に残る抄録と座長印、受講印を印字した受講ノートがお手元に届きます。会員の皆様を大募集です。



(中村)

ありのまま生活後援会 (敬称略)



【自販機販売設置支援】

◆サントリービバレッジ
10月分の売上の一部をご寄付頂きました。(一本あたり1円〜10円が寄付されます。)
全労済宮城推進本部

1,778円
銅谷建設(株) 巨理ありのまま舎建設工事現場
843円
ありのまま舎(自立ホーム難病ホスピス・県南)
15,106円

ありがとうございました。



寄付金控除のお知らせ

当舎は税額控除を受ける法人として仙台市から証明を受けました。確定申告の際、従来の「所得控除」に加え、「税額控除」のどちらか選択できるようにになりました。

(例) 総所得額を100万円として所得税率10%、寄付金を1万円とした場合

1、所得控除適用の場合
1万円(寄付金)×2千円
＝8千円 (所得控除額)
8千円×10%(0.1)
＝800円の減税となります。

2、税額控除適用の場合
1万円(寄付金)×2千円
8千円×40%(0.4)
＝3,200円の減税となります。

確定申告の際には、当舎の「領収書」と「税額控除に係る証明書」の写しが必要になります。ご寄付を頂いた皆様には順次お送りさせていただきます。

詳しくは当舎へお問い合わせ下さい。※確定申告の対象は1月1日から12月31日までの期日です。

難病や重度障害を持った方々への支援のために皆様のお力をお貸しください。ご支援を切にお願い申し上げます。

ご寄付のお礼とお願い

会報「自立」11月号をお読み下さった方よりご寄付のお問い合わせをいただきました。

「寄付を考えています。どの様にすれば良いでしょうか。」

「会報を読んで先ほど寄付をしました。頑張ってください。」

これまでご支援のお願いを繰り返していただき、その中でさらに新たな拠点整備である「巨理ありのまま舎」への支援をお願いさせていただき、大変心苦しく、ご批判もあることと思っております。

そんな中で会報をお読み下さった方がかけてくださった言葉、寄せてくださった「寄付がどれだけ私たちを励まし、力となり、私たちが目指すものをしつかり実現しなければならぬ責務を与えられているかを強く感じました。」

どうか今後ともご助言やご指導、そして活動へのご支援を切にお願い申し上げます。今年1年も本当にありがとうございました。



レンタカー・カーリースのご用命は



本社 / 仙台市宮城野区宮千代 2-13-3 電話 022-283-0100
リース部 / 仙台市宮城野区扇町 3-6-25 電話 022-782-0022

本町店 022-224-0100	交差点店 022-221-0100	一番町大学入口店 022-263-0100	高砂店 022-254-0100
仙台駅西口店 022-213-0100	仙台駅東口店 022-293-0100	卸町店 022-237-0100	鹿野286店 022-246-0100
泉中央駅前店 022-372-0100	気仙沼店 0226-22-0100	新幹線くりこぎ高松駅前店 0228-21-2100	新幹線古川駅前店 0229-23-0100
石巻店 0225-22-0100	名取駅前店 022-381-0100	仙台空港店 0223-22-0100	鈴岡駅前店 0224-57-0100

新型ヴォクシー(車いす仕様・電動スロープ車)
その他ウェルキャブもラインナップしております。